

株式会社パナグループは、第2期の決算を終え、心新たに新年度をスタートいたしました。株主の皆さまの日ごろのご支援とご厚情に対し、心より御礼を申し上げます。

◎ パナグループの使命・役割をしっかりと果たす

さて、7月末に発表された6月の有効求人倍率は0.43倍と、過去最悪を更新しました。「正社員」に限って見れば、有効求人倍率は0.24倍一。つまり、「4人以上の求職者に対して仕事が1つしかない」という状況です。同日発表された完全失業率も5.4%と、過去最悪の5.5%に近づきつつあります。また、2009年度の経済財政白書は、「企業内失業者」が過去最多の607万人に達したと推計。これはバブル崩壊後の1999年の359万人を大きく上回る水準です。

今後、雇用情勢はさらに悪化する可能性が大きいと言えるでしょう。しかしそのような状況だからこそ、この場所・この時代に背を向けることなく、「雇用の問題を解決することで社会に貢献する」という、パナグループの使命・役割をしっかりと果たしていきたいと、身を引き締め、決意を新たにしています。

◎ 誰もが格差なく働くことのできる社会の実現を目指して

先の国会では人材派遣の規制強化に向けた改正法案が与野党から提出されました。働く人の立場から派遣法を見直すことは必要でしょう。しかし、それがかえって働く人の選択肢を狭めるようなことであってはならないと考えています。

たとえば内閣府が実施した調査では、子供のいる女性の半数以上が「勤め先や仕事の状況」で離職したと答え、子育て中の女性の半数以上が「子供が幼稚園や学校に行っている間だけ働きたい」と答えています。また先日は、正社員として役職に就いて働いていた40歳の女性が80歳を超える両親の介護のために会社を辞めざるを得なくなった、という話も聞きました。

家計面から女性も働くことが必要になり、企業経営からも女性戦力が待望される状況を鑑みても、女性のライフステージの変動にも対応できる、働き方の多様な選択肢が必要なことは論を待ちません。

今から33年前、「家庭の主婦の方々の再就職を応援したい」という思いから、私はパナグループを創業しました。以来、誰もが才能・能力を存分に発揮し、夢を持って、処遇の格差なく働くことのできる社会の実現を目指してきました。派遣スタッフが能力やスキルに見合った収入を得られるよう、同一能力・同一処遇の精神のもと、「正社員」の年俸を1年間の労働時間で割って時間給を設定することからはじめ、健康管理のための体制を整え、福利厚生 of 仕組みを整え、社会保険をはじめ、様々なセーフティネットを整えてきました。



日本の企業数の90%以上を占める中小企業と数%の大企業間、また大都市と地方間の格差は今なお大きいですが、就労形態や企業規模、また就業する地域の如何に関わらず、格差なく働くことのできる共通基盤の一部として私たちパナソニックグループが機能していけるよう、今後も、働く人のキャリアと生活を支えるサポートインフラの整備に注力してまいります。

◎ 社会に貢献できる企業であり続けるために

企業においては、“グローバル化”とともに“働く人を中心とした経営”が大きなテーマとなり、今後、組織のあり方や形態は、大きく変わっていくでしょう。同時に、そこで働く人や価値観もますます多様化していくはずです。

パナソニックグループは、ダイバーシティ施策、ワークライフ・バランス施策、メディカルケアやメンタルヘルス、福利厚生サービスなど、既存のサービスを深化させるとともに、新たなフィールドを開拓することで、働く人の多様性に応える仕組み・インフラを整えてまいります。

人と企業に必要とされ、社会に貢献できる企業であり続けられるよう、社員一人ひとりが、使命感と情熱を持って、全力を尽くしてまいります。皆さまからの変わらぬご支援を賜りますよう、心よりお願い申し上げます。

2009年8月

代表取締役 グループ代表

南部靖之

2009 **ベネフィット・ワン**
1月 カスタマーセンター機能を集約
 「松山オペレーションセンター」操業開始
www.benefit-one.co.jp

ベネフィット・ワンは、愛媛県松山市内で操業していた「松山カスタマーセンター」を移転し、予約手配だけではなく、バックオフィスの事務処理を行う事務センター機能を兼ね備えた新社屋「松山オペレーションセンター」の操業を開始しました。



開所式には愛媛県知事、松山市長や関係者約60名のほか、多くの報道関係者が参加し、地元での注目度の高さがうかがえました

東京・大阪で行っていたカスタマーセンターの機能を順次松山に集約し、更なるサービスレベルの向上をはかります。また、施設では最大800名の雇用を見込んでおり、地域に根ざした企業として、県内の雇用創出に貢献してまいります。

2009 **パナ**
5月 「働き方イノベーションサービス」
 開始、WLBを推進
www.pasona.co.jp

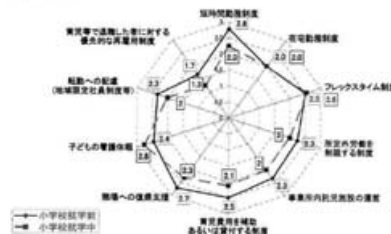
パナは、企業における社員の働き方を変革することで、生産性向上の実現をサポートするコンサルティングサービス「働き方イノベーションサービス」の提供を開始しました。

学習院大学 経済経営研究所が有志企業とともに開発した、企業のワークライフ・バランス(以下、WLB)をはじめとする人事施策の評価分析ツール「WLBベンチマークサーベイ」の結果に基づいて、課題解決までのプランを策定し、パナグループのトータルソリューションメニューを活用した課題解決サービスを総合的に提供します。

企業は、WLBに焦点をあてた働き方の変革や、多様な働き方を自社に導入することで、社員の生産性向上と優秀な人材の確保が可能となります。

パナは、これからも企業における社員の多様な働き方の実現を支援してまいります。

制度利用年数 図表5 育児支援策<小学校就学前・就学中>



多様な働き方を支援することで、生産性を上げている企業の実績データを踏まえ、制度の有無や浸透度、有効性を評価します

2009 **パナグループ**
5月 パナテック株式を公開買付
 「総合エンジニア人材事業」を強化
www.pasonatech.co.jp

パナグループは、ITエンジニア領域の人材事業を展開しているパナテックの完全子会社化を目指し、株式の公開買付を実施しました。

IT技術はますます多様化し、国境を越えグローバルに拡大しています。あらゆる産業で活用されるITは、個人の生活環境にも欠かせないものとなりました。日本ではIT技術者がまだまだ不足しており、日本企業の競争力を維持するためには、人材の育成が不可欠であるといわれています。



パナテックでは昨年ベトナムの現地法人を子会社化し、アメリカ、中国、ベトナムとグローバルなIT人材サービスを展開しています

そこでパナテックを基軸にIT人材サービスをさらに拡大させ、「総合エンジニア人材事業」の本格的な展開を目指してまいります。

グループの力を結集することで、国内外でIT技術者を育成し、新たな雇用創造を目指すとともに、事業を通じて日本社会の発展に貢献してまいります。

2009 1月 パナ

派遣スタッフ向け裁判員制度セミナー開催

www.pasona.co.jp

パナは派遣スタッフを対象に、「裁判員制度」の概要や実際に選出された際の対応などについて学ぶ「裁判員制度セミナー」を開催しました。派遣スタッフの方が安心して制度に参加できるよう、メンタルケアも含めたサポートを行ってまいります。



パナでは、派遣スタッフが裁判員に選出された場合の「特別休暇制度」も設けています

2009 3月 パナフォスター

児童への子育て支援を拡大

www.pasonafoster.co.jp

パナフォスターは、認可・認証保育施設や企業内保育施設の運営による未就学児対象の子育て支援に加え、児童(小学生)の放課後を安全に見守り健全に育成する「放課後児童健全育成事業」の施設数を拡大しました。今後も、子供を生み育てることに喜びを感じる社会になるよう支援してまいります。



都内の小学校での放課後事業の様子。子供たちは、友達や指導員と楽しく過ごしています

パナグループ

「農林漁業ビジネス経営塾MOBILE」開設

<http://nourinyo.jp> (モバイルサイト)

2007年から全国で開催している「農林漁業ビジネス経営塾」の携帯電話サイトを開設。

これまで問合わせの多かった質問や悩みをテーマ別に紹介しているほか、講師への質問を受け付ける相談窓口を設けました。当塾を通じて、第一次産業の経営発展と中高年の雇用創出を目指します。



農林漁業ビジネス経営塾では、これまで約4,000名の農林漁業経営者に営業やマーケティングなど幅広い講座を実施しました



2009 4月 ベネフィット・ワン

「特定検診・特定保健指導」サービス拡充

www.benefit-one.co.jp

ベネフィット・ワンは、企業の健康保険組合や官公庁の共済組合から約22万人分の「特定検診・特定保健指導事業」を受託し、4月からサービスを開始しました。今後も当該分野でのサービス強化をはかり、更なる事業拡大を目指してまいります。



全国で「特定保健指導」を実施する保健指導員を、2010年3月末までに900人体制にすることを目指します

パナナエデュケーション

「日本語スピーチコンテスト」で5年連続入賞

www.pasona.edu.hk

1984年の設立以来、香港で日本語教育のリーディングカンパニーとして、質の高いサービスを提供している。パナナエデュケーションは、香港の中高生を対象に実施された「第5回香港中高生日本語スピーチコンテスト」で、5年連続となる入賞者を輩出しました。



今年準優勝に輝いたのは中学3年生の生徒。パナナエデュケーションは、第1回から優勝者、準優勝者を毎年輩出しています

2009 5月 パナグループ

ベルリンフィルハーモニー管弦楽団が「夢」オーケストラに演奏指導

www.pasonagroup.co.jp

派遣スタッフと企業担当者、パナグループ社員で構成する「パナグループ「夢」オーケストラ」が、コンサートのために来日したベルリンフィルハーモニー管弦楽団のメンバーより、演奏技術の直接指導を受け、感動のひとときを過ごしました。



「パナグループ「夢」オーケストラ」は、演奏活動とともにチャリティーコンサートなどの社会貢献活動も行っています

アート村工房・流山オープン

私たちは、パナソニックグループの「人を活かす」ための事業そのものが、企業としての社会的責任(CSR)であると考え、社員一同、企業理念を正しく理解、実践し、地域社会に貢献するソーシャルアクティビストとして行動することを常に心がけています。今回は、今春オープンした「アート村工房・流山」についてご紹介します。

◎ 地域に根ざした障害者の雇用創造



流山工房の開所式。工房の壁面にはアート村アーティストにより、希望や夢に溢れた所員の喜びの笑顔が描かれています

アート商品の企画・制作・販売を通じて障害者の自立支援を行い、新たな就業の場を提供する「アート村工房」。東京・武蔵野市に続き、千葉県立特別支援学校 流山高等学園に通う、障害者の親の会「KOYOクラブ」の協力を得て、「アート村工房・流山」を4月27日に開設しました。

ここでは、流山高等学園で縫製などの職業訓練を受けた、軽度・中度の知的障害者の方々2名の採用からスタートして雇用を拡大し、アート商品の企画・制作・販売を通じて障害者の自立支援を行い、新たな就業の場を提供していきます。

今後も、特別支援学校や社会福祉法人、地域との協力・連携を強化し地域に根ざした障害者の雇用創造に取り組んでいきます。



メンバー全員が作品制作を通して働く楽しさを感じています



アート村HP www.art-mura.com

パナソニックグループ「ソウルメイツハーモニー」

パナソニックグループの社員、派遣スタッフが心を一つにして社会貢献活動を行うおと結成された「パナソニックグループ」。2009年5月には、倶楽部パナソニック表参道にて第1回チャリティーコンサートを開催しました。

コンサートには児童養護施設の子供たちをご招待し、またコンサートの収益金は児童養護施設の子供たちの自立を支援するNPO法人ブリッジフォースマイル(www.b4s.jp)に寄付されました。



名曲「ひまわり」を合唱。メンバーは左胸にひまわりのオブジェをつけ、気持ちを合わせ、手話も披露



コンサートのクライマックスには、観客の皆さんも一緒に「あの鐘を鳴らすのはあなた」を歌い上げました!

車椅子テニス大会「エンジェルテニスカップ」開催

「体に障害を持つ方々と健常者が一緒にスポーツを楽しめたら、この上ない心の架け橋になるのではないか」という一人の社員の声をきっかけに1993年にスタートし、今年4月に第16回目を開催しました。大会の趣旨に賛同していただいたクライアント企業からも多くの支援をいただき、200名以上のパナソニックグループ社員、派遣スタッフがボランティアとして参加、大会の企画運営にあたりました。今回は「ゴミを出さない大会」を新たなテーマに掲げ、大会参加者とボランティアスタッフは「マイ箸」、「マイカップ」を持参し、環境に対して関心を高めてもらうための企画も実施しました。



若手メンバーを中心に、約200名がボランティアとして参加。南部代表の力強い開会宣言のもと白熱した試合が繰り広げられました

スタッフとクライアントが語る...派遣の仕事、パナナのこと

パナナグループの派遣スタッフは、それぞれの輝く未来のために、仕事にもプライベートにも精力的に取り組んでいらっしゃいます。私たちはそのような可能性を最大限に広げるために全力でサポートしています。

今回はパナナグループの魅力をスタッフとクライアントの皆さまが語ってくれました。

From: スタッフ 「だからパナナを頼りにしています！」

廣田 るり子さん (受付)

派遣を選択したのは、受付という仕事をずっと続けたいからです。受付はたくさんのお客様一人ひとりの特徴や希望を把握して、瞬時に対応するスキルが必要です。顔を覚えていただき、安心して話して下さるお客様が増えると「続けてよかった」と思います。

パナナはスタッフの頑張りを大切に考えて、正當に評価しようとしてくれるし、福利厚生も充実しているので、仕事のやりがいも高まります。営業の方はまめに来て親身に相談にのってくれます。話を聞いてくれるだけでなく、「パナナの営業の方は、何かあれば必ずスタッフのために動いてくれる」という信頼感があるんです。



「パナナは本当にスタッフを大事にしてくれます」と廣田さん



「廣田さんは察する力と氣遣いが素晴らしいプロ」と担当営業

保谷 裕美さん (営業事務)

実は最初、派遣は少し抵抗があったんです。でもパナナは、営業の方が必要な時すぐにフォローしてくれて、福利厚生もいい。女性向けのメニューや講座が充実していて、一生の財産になるような研修も受講しました。イベントが豊富で、スタッフ同士すごく仲が良いんです。正直、派遣でこんなに多くの人と交流できるとは思いませんでした。

またパナナは、スタッフだけでなくその家族までケアしてくれます。倶楽部/パナナ表参道に両親を招待した時は、「派遣に対するイメージが変わった」と言っていました。「スタッフと社員の間を壁を作らない」という考えを本当に実践している会社だと感じます。



パナナゴスペルクラブではいつも新しい感動を味わっています(写真中央)



「私は遊びも仕事も常に全力だから、この働き方が合っています」と保谷さん

From: クライアント 「我々もパナナを頼りにしています！」

Message 1

ハイエンドな金融商品を抱う人財が成果を出すには、コア業務に集中する必要があります。そのために、オフィス業務のプロであるパナナのスタッフのサポートがとても役立っています。(証券)

Message 2

人材派遣のほか、ベネフィット・ワンに福利厚生サービス、パナナキャリアに再就職支援を委託しています。パナナに一括して任せられるので、経営再建に集中できます。(銀行)

Message 3

受注データ入力スピードと正確さ、当社のシステムを自在に使いこなす習熟度、そして何より仕事に対する真摯な姿勢に感服しました。(信販)

Message 4

何度も当社に足を運んで、親身になってスタッフを支えているパナナの営業に感謝しています。今後も高いモチベーションを維持して、一緒に難局に立ち向かってください。(リース)

今後もパナナグループは皆さまの期待に応えてまいります。

ふるさと応援隊

パナグループは地域活性化事業として、企業経験豊富なベテラン人材が、首都圏をはじめ全国に販路を拡大したい地方の企業をサポートする「ふるさと応援隊」をスタートさせました。中高年人材の新しい働き方を提案するとともに、新たな雇用創出につなげ、地方経済の活性化につなげていきたいと考えています。

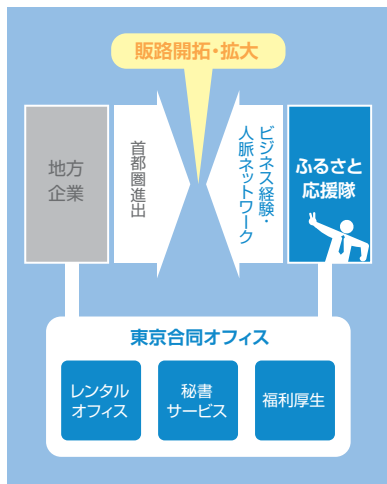
◎ その道のプロが地方企業の首都圏進出を支援 ……………

地方には独自のサービスや製品を提供する中小規模の企業が多く、こうした企業の活躍がその地方の経済に大きな影響を与えています。しかし、立地や人材の面から地方企業は活躍が制限されることもあり、新たな販路拡大に苦慮することが多いのも実情です。

そこで、パナグループでは、こうした地方企業の東京での営業活動や販路拡大を支援するベテラン人材「ふるさと応援隊」の募集を開始いたしました。

ふるさと応援隊は、これまで培った多彩なビジネス経験や人脈ネットワークを活かして、地方企業の東京を中心とした首都圏での営業活動、販路拡大の支援活動を行ってまいります。また、地方企業が東京に進出した場合、人材の獲得やオフィスを借りるなどの投資が必要なため、契約した地方企業が東京での営業活動拠点として利用できる「オフィススペース」や「秘書サービス」なども提供いたします。

パナグループでは、地方の活性化により新たな雇用創造に取り組むとともに、中高年人材が個人事業主として活躍できる、新しい雇用スタイルを提案してまいります。



元金融人材、元商社人材が販路拡大、営業を支援

“故郷を元気にしたい” “経験を活かして地域活性に貢献したい”など、ふるさと応援隊の募集説明会には、熱い思いを持った中高年人材が続々と集まりました。既に約200名が登録を希望しており、金融業界、商社やメーカーの出身者など多彩な人材が集まっています。

利便性に優れた「銀座」にオフィスを開設

契約した地方企業が東京の営業拠点として利用できる「オフィススペース」。約110m²のスペースには、PCが使用できるデスク環境のほか、会議室や打ち合わせに使用する会議スペースなども用意されています。また、商談時の来客対応にも安心な専任の受付が常駐し、東京での企業活動を支援しています。



お問合せ先: パナグループ「ふるさと応援事業」事務局 Tel. 03-6734-1070

◎ 決算ハイライト

売上高

2,187 億円

営業利益

29 億円

経常利益

34 億円

当期純利益

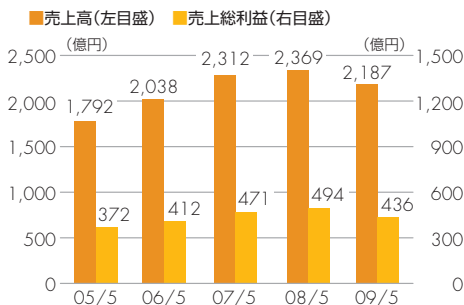
3 億円

◎ 2009年5月期業績サマリー

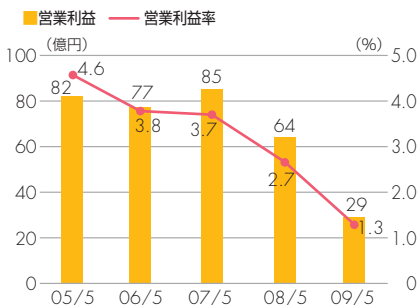
- 景気減速に伴う企業の雇用調整により、人材紹介事業がマイナス成長の一方、再就職支援事業の需要は堅調に推移
- インソーシング(請負)事業、アウトソーシング事業が引き続き成長
- 人材派遣事業は、金融・輸出産業で新規需要が抑制され、稼働者数が減少する一方で、優秀人材の確保や長期安定化が進み、新たな派遣需要が見られるなど変化の兆し

- 派遣スタッフの健康保険料率の大幅引き上げ、有給休暇取得増加による原価増により売上総利益率が低下
- オフィス集約化に伴う特別損失等を計上し、当期純利益の減益幅が拡大
- 2010年5月期は増収増益を見込む
- 2010年5月期は1株当たり中間配当600円、期末配当650円を予定

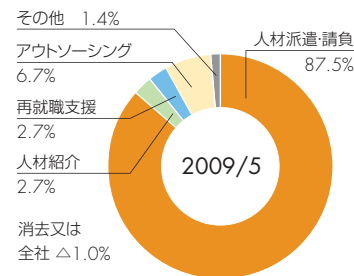
■ 売上高および売上総利益



■ 営業利益および営業利益率

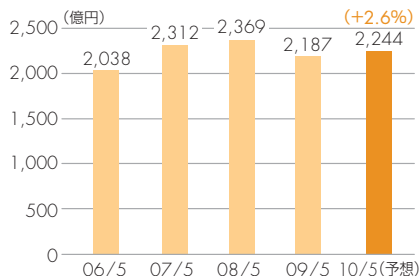


■ 事業区別売上高構成比

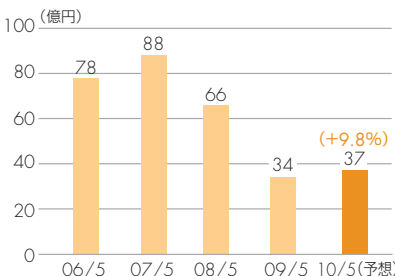


◎ 2010年5月期予想

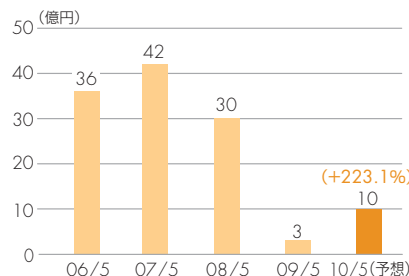
■ 売上高



■ 経常利益



■ 当期純利益



※数字は原則、百万円単位は未満切り捨て、億円単位は未満四捨五入で表示しています。

当期は、人材派遣事業や人材紹介事業において新規の需要が減少し、ともに減収となった一方で、業務効率向上とコスト削減を目的としたインソーシング(請負)事業とアウトソーシング事業は企業の需要も高く、引き続き拡大しましたが、連結売上高は218,699百万円(前期比△7.7%)となりました。

減収影響に加え、派遣スタッフの健康保険料率の大幅引き上げや有給休暇の取得増加等により原価が膨らみ、売上総利益が減少しました。募集費等販管費の削減を一層進めましたが、売上総利益の減少をカバーするには至らず、連結営業利益は2,850百万円(前期比△55.8%)となりました。派遣スタッフの福利厚生制度の内容見直しによる収益等、一時的な営業外収益が発生したことにより、連結経常利益は3,361百万円(前期比△49.4%)となりました。

また、役員退職慰労金制度を廃止し、打切支給を行わないこととしたため、特別利益を計上しましたが、事業再編による子会社売却に伴う特別損失やオフィス集約化に伴う費用を同じく特別損失として計上したことに加えて、少数株主利益の割合が増加したことから、連結当期純利益は312百万円(前期比△89.4%)となりました。

■ 事業セグメント別業績 (セグメント間取引消去前)

(単位:百万円)

	2008年5月期	2009年5月期	増減率
人材派遣・請負、人材紹介	216,486	197,333	△8.8%
人材派遣・請負	208,810	191,412	△8.3%
人材紹介	7,676	5,921	△22.9%
再就職支援	5,858	5,794	△1.1%
アウトソーシング	13,732	14,725	7.2%
その他	2,115	3,002	41.9%
消去又は全社	△1,248	△2,155	-
売上高合計	236,945	218,699	△7.7%
人材派遣・請負、人材紹介	5,056	3,291	△34.9%
再就職支援	1,377	1,025	△25.6%
アウトソーシング	1,883	2,135	13.4%
その他	△26	12	-
消去又は全社	△1,846	△3,614	-
営業利益合計	6,444	2,850	△55.8%

※前連結会計年度下期より持株会社の費用が「消去又は全社」の中の全社費用として計上されています。

人材派遣・請負、人材紹介事業

パンナ、パンナテック
パンナキャリア 他

人材派遣・
請負

売上高 **191,412** 百万円 (前期比△8.3%)

オフィスワークを中心とする人材派遣事業では、金融業界や輸出産業等において新規需要が抑制され、また、3月には顧客都合の契約終了が増加したこともあり、長期稼働者数が減少しました。加えて、派遣先企業の残業抑制も行われたことから、特に第4四半期において業績のマイナス幅が拡大しました。一方で、優秀スタッフの確保が進み人材供給面での安定感が増しました。

職種別では自由化職種の派遣可能期間満了に伴う契約終了影響もあり、営業・販売職の減少幅が大きくなりました。一方、重点注力分野であるインソーシング(請負)事業は新規受託案件が増加し、9,910百万円(前期比+8.6%)と着実に成長しました。

人材紹介

売上高 **5,921** 百万円 (前期比△22.9%)
(国内 4,954百万円、海外 966百万円)

景気悪化による企業の採用抑制が顕著となり、昨年秋以降求人数の減少が続いています。新規受注において求められるスキルや経験値も上がったためマッチングが難しく、特に足元で厳しい推移となりました。海外事業は事業再編に伴い連結子会社を売却した影響等により、大幅な減収となりました。

人材派遣・請負、
人材紹介

売上高 **197,333** 百万円 (前期比 △8.8%)
営業利益 **3,291** 百万円 (前期比△34.9%)

減収に伴う売上総利益の減少に加え、派遣スタッフの健康保険料率の大幅引き上げや有給休暇の取得増加などから原価が増加し、売上総利益率が低下しました。募集費等販管費の大幅な抑制を進めましたが、減収減益となりました。

再就職支援事業

パナキャリア 他

売上高 **5,794** 百万円 (前期比 △1.1%)営業利益 **1,025** 百万円 (前期比△25.6%)

景気悪化を受けて企業の雇用調整が進み、需要は特に第4四半期において前年を大きく上回りました。業界トップ企業であるパナキャリアは、人材紹介部門からの人員配置転換によりコンサルタントを増員し営業体制を強化しました。しかし、第4四半期に受注した案件の一部の売上計上が次期にずれ込むこと、また前年同期は大口需要が集中したこともあり、結果、減収減益となりました。

アウトソーシング事業

ベネフィット・ワン

売上高 **14,725** 百万円 (前期比 +7.2%)営業利益 **2,135** 百万円 (前期比+13.4%)

主要顧客である大企業・官公庁等が従業員の価値観・ニーズに合致した幅広い福利厚生サービスを効率的に提供するためアウトソーシング化を推進しており、市場は持続的な成長軌道にあります。

ベネフィット・ワンでは、法人会員に対して提案営業を推進し、ワークライフ・バランスに配慮した福利厚生サービスを提供しています。報奨金などをポイント化し管理・運営をする「インセンティブ・カフェ」、改正健康保険法施行に伴う「特定健診・特定保健指導」サービス等の新規サービスに取り組み、個人・法人会員双方へのサービス提供体制を強化した結果、増収増益となりました。

その他の事業

売上高 **3,002** 百万円 (前期比+41.9%)営業利益 **12** 百万円 (前期は26百万円の営業損失)

保育関連事業や教育事業のほか、グループ内シェアードサービス会社等の売上を含みます。当期より業務効率化を目的にシェアード化を推進しています。

2010年5月期の見通し

企業におけるリエンジニアリング(業務フローや組織構造の再構築)に対する潮流は強く、インソーシング(請負)事業やアウトソーシング事業がさらに成長するとみています。

こうした企業ニーズを着実に捉えるべく、次期は以下を重点戦略として事業を展開することで、グループ全体の成長を目指します。

重点戦略と施策

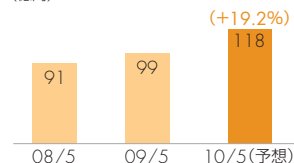
①トータルソリューションサービスの強化

- インソーシング(請負)、アウトソーシングメニューの拡大
- HRコンサルティングビジネスの強化
- 新規領域開拓の強化

現在のサービスメニューに加え、インソーシング(請負)やアウトソーシングメニューを拡充するとともに、グループ全体のマーケティング会社であるパナドゥータンクを中心にコンサルティング営業を強化し、トータルソリューションサービスを提供していきます。また、様々なメニューが求められるパブリックマーケット等の新規領域の開拓にも注力していきます。

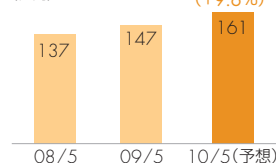
■インソーシング(請負)売上高

(億円)



■アウトソーシング売上高

(億円)

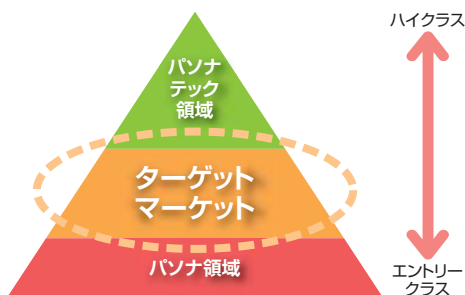


②ITトータルプロバイダー戦略の推進

- パナナテックの完全子会社化
- パナナテックとパナナの連携強化による領域拡大
- 付加価値戦略の推進

パナナテックの株式を公開買付により追加取得し、同社の完全子会社化を予定しています。今後、同社を基軸に「総合

エンジニア人材事業」を本格展開するとともに、ITトータルプロバイダーとして、グループの一体性をこれまで以上に高め、パナソニックの手がけるハイクラスなIT人材のみならず、エントリー・ミドルクラスのIT人材の育成、派遣を強化するなど、幅広いサービスを展開していきます。



③ 業務効率化の推進と経費削減

- グループ総合拠点の開設(東京・大手町)
- シェアード化の推進
- 経費削減

2010年1月、東京・大手町に周辺拠点を集約した、グループの総合オフィスを開設し、グループ営業力の強化と業務効率の向上を図ります。また、各事業の業務フローの見直しや間接部門のシェアード化を進め、グループ全体の業務効率化をさらに推進するとともに、経費全般についても引き続き見直しを図り、更なる削減に努めていきます。

○ 次期の見通し.....

人材派遣事業については、派遣スタッフの長期安定化とともに、派遣スタッフの口コミによる新規登録の強化や既存登録者への細やかなアプローチによる優秀人材の確保が着実に進み、供給力が向上しています。足元では新規受注の下げ止まりも見られ、また、企業の人材戦略の見直し等による新たな派遣需要も出てきています。今後、企業の正社員採用抑制による、より専門化、複合化した派遣需要の回復が見込まれることから、成約率の向上により下期にかけて派遣稼

働者数が拡大するものとみています。また、専門職種強化の一環として、三井物産グループの派遣子会社であった三井物産ヒューマンリソースを2009年7月にグループ内に統合しています。

インソーシング(請負)事業、アウトソーシング事業については、企業の需要も強いことから、人的投資等、引き続き注力することで高い成長を目指します。

再就職支援事業については、足元の受注が非常に好調であることから、大幅な増収となる見通しですが、従来と比べ再就職決定までのプロセスに時間がかかる可能性があることから、利益ベースでは若干のマイナスを見込んでいます。

これらにより、次期は下期に向けての業績拡大を見込み、連結売上高は224,390百万円(当期比+2.6%)を見込んでいます。利益面では、人材紹介事業の減収や再就職支援事業の粗利率の低下などにより、売上総利益の減少をみめますが、業務効率化を進め、販管費の抑制など全体的なコスト削減に努めることで吸収する見通しです。結果、連結営業利益は3,540百万円(当期比+24.2%)、連結経常利益は3,690百万円(当期比+9.8%)、連結当期純利益は1,010百万円(当期比+223.1%)と増収増益を見込んでいます。

剰余金の配当

2009年5月期の期末配当については、資本剰余金を原資として、1株当たり650円とさせていただきます。また、次期については、1株当たり中間配当600円、期末配当650円を予定しております。

(単位:円)

	中間	期末	年間
2009年5月期	600	650	1,250
2010年5月期(予想)	600	650	1,250

次期においても、グループの一体性を高め、営業力を強化すると同時に、経営効率の向上にも努め、より力強く健全なグループ成長を目指してまいります。

連結貸借対照表(要約)

(単位:百万円)

科目	前期末	当期末
	2008年5月末現在	2009年5月末現在
資産の部		
流動資産	41,213	37,358
固定資産	17,300	18,110
有形固定資産	4,990	5,029
無形固定資産	3,338	3,741
投資その他の資産	8,971	9,338
資産合計	58,513	55,468
負債の部		
流動負債	26,731	28,834
固定負債	2,313	1,485
負債合計	29,045	30,319
純資産の部		
資本金	5,000	5,000
資本剰余金	8,887	6,517
利益剰余金	12,682	12,995
自己株式	△2,257	△4,799
株主資本合計	24,312	19,713
評価・換算差額等合計	19	△76
少数株主持分	5,136	5,512
純資産合計	29,468	25,148
負債純資産合計	58,513	55,468

連結キャッシュ・フロー計算書(要約)

(単位:百万円)

科目	前期	当期
	(自2007年6月1日 至2008年5月31日)	(自2008年6月1日 至2009年5月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー	5,974	4,443
投資活動によるキャッシュ・フロー	△2,968	△4,966
財務活動によるキャッシュ・フロー	△980	1,077
現金及び現金同等物に係る換算差額	△164	△46
現金及び現金同等物の増加額	1,861	507
現金及び現金同等物の期首残高	11,750	13,612
現金及び現金同等物の期末残高	13,612	14,120

連結損益計算書(要約)

(単位:百万円)

科目	前期	当期
	(自2007年6月1日 至2008年5月31日)	(自2008年6月1日 至2009年5月31日)
売上高	236,945	218,699
売上原価	187,575	175,114
売上総利益	49,369	43,585
販売費及び一般管理費	42,925	40,735
営業利益	6,444	2,850
営業外収益	560	742
営業外費用	366	231
経常利益	6,637	3,361
特別利益	1,139	757
特別損失	777	1,232
税金等調整前当期純利益	7,000	2,885
法人税、住民税及び事業税	3,488	1,765
法人税等調整額	△304	52
法人税等合計	3,183	1,818
少数株主利益	853	755
当期純利益	2,962	312

資産

主な増減は受取手形及び売掛金の減少4,364百万円、敷金及び保証金の増加1,607百万円等です。

負債

主な増減は短期借入金の増加6,289百万円、未払費用の減少2,301百万円、未払法人税等の減少1,266百万円等です。

純資産

主な増減は配当金の支払757百万円、自己株式の取得4,154百万円等です。自己資本比率は、前期末に比べて6.2%ポイント減少し、35.4%となりました。

営業活動によるキャッシュ・フロー

主な増減は売上債権の減少による増加額4,356百万円、法人税等の支払額3,071百万円等です。

投資活動によるキャッシュ・フロー

主な増減は有形固定資産の取得による支出1,553百万円、無形固定資産の取得による支出1,654百万円、オフィス移転等による敷金及び保証金の差入による支出1,817百万円等です。

財務活動によるキャッシュ・フロー

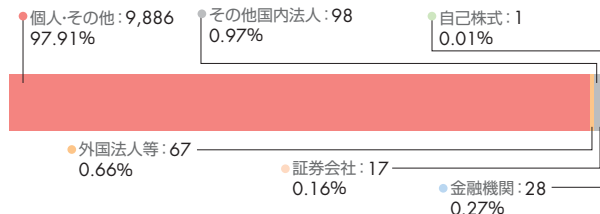
主な増減は短期借入金の増加6,289百万円、自己株式の取得4,490百万円、配当金の支払1,040百万円等です。

株式の状況

会社が発行する株式の総数: 1,500,000株
 発行済株式総数: 416,903株
 株主数: 10,097名

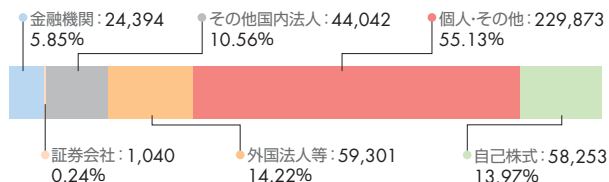
所有者別株主数

合計: 10,097名



所有者別株式数

合計: 416,903株



※2008年8月29日付で自己株式17,500株を消却しました。

株主(上位10名)

南部靖之	147,632株 (35.41%)
株式会社パソナグループ(自己株式)	58,253株 (13.97%)
株式会社南部エンタープライズ	35,688株 (8.56%)
ステート ストリート バンク アンドトラスト カンパニー-505223	23,842株 (5.72%)
ステート ストリート バンク アンドトラスト カンパニー	17,006株 (4.08%)
南部栄三郎	9,000株 (2.16%)
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口4G)	8,845株 (2.12%)
メロンバンク エヌイー・アズ エージェント ファー イッツ クライアントメロンオムコ(ス コーエス ベンション)	7,394株 (1.77%)
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口)	5,592株 (1.34%)
パソナグループ従業員持株会	4,673株 (1.12%)

※自己株式58,253株(発行済株式数に対する所有割合13.97%)は、会社法第308条第2項の規定により議決権を有していません。

地域別株主数分布状況

北海道	124人 (1.22%)
東北	221人 (2.18%)
関東	4,553人 (45.09%)
中部	1,465人 (14.50%)
近畿	2,514人 (24.89%)
中国	438人 (4.33%)
四国	263人 (2.60%)
九州	455人 (4.50%)
外国	63人 (0.62%)
自己名義株式	1人 (0.01%)

株価および出来高の推移



取締役および監査役

取締役会長	竹 中 平 蔵
代表取締役グループ代表兼社長	南 部 靖 之
取締役専務執行役員	深 澤 旬 子
取締役専務執行役員	山 本 絹 子
取締役専務執行役員	鈴 木 雅 子
取締役専務執行役員	川 崎 悦 道
取締役常務執行役員	若 本 博 隆
取締役	森 本 宏 一
社外取締役	相 原 宏 徳*
社外取締役	平 澤 創*
社外取締役	衛 藤 博 啓*
常勤監査役	肥 後 一 雄
社外監査役	秋 元 勇 巳**
社外監査役	後 藤 健**
社外監査役	船 橋 晴 雄**

* 取締役の相原宏徳氏、平澤創氏、衛藤博啓氏は会社法第2条第15号に定める社外取締役です。

** 監査役の秋元勇巳氏、後藤健氏、船橋晴雄氏は会社法第2条第16号に定める社外監査役です。

アドバイザーボード

財団法人地方自治研究機構 会長	石 原 信 雄
財団法人機械システム振興協会 会長	児 玉 幸 治
財団法人全国勤労者福祉・共済振興協会 理事長	鷲 尾 悦 也
当社社外取締役	相 原 宏 徳
当社取締役会長(慶應義塾大学 教授 グローバルセキュリティ研究所 所長)	竹 中 平 蔵

第2期期末配当に関するお知らせ

当社は平成21年7月17日開催の取締役会において、第2期期末配当を実施することを決議し、平成21年8月27日より配当金のお支払いを開始させていただきます。

今回の配当金は全額「資本剰余金」を原資としており、「資本の払い戻し」に該当します。「利益剰余金」を原資とする配当とは税務上の取扱いが異なりますので、お取扱い等につきましては、本冊子とともにお送りいたしました「第2期期末配当に関するご説明」をご高覧いただきますようお願い申し上げます。

具体的な取得価額、みなし譲渡損益の計算、当社株式のご売却による譲渡所得税額の計算、また確定申告の要否につきましては、株主の皆さま個々のご事情によって異なりますことから、大変お手数ですがお取引の証券会社、最寄りの税務署等にご相談いただきたくお願いいたします。

■本件に関するご照会先

- 「第2期期末配当に関するご説明」についての一般的なご照会
 - みずほ信託銀行株式会社
証券代行部: ☎0120-288-324(フリーダイヤル)
受 付 時 間: 午前9:00~午後5:00(土日祝日を除く)
 - 株式会社パナグループ
総 務 部: Tel. 03-6734-0150
受 付 時 間: 午前9:00~午後5:30(土日祝日を除く)
- 株主さま各位の取得価額の調整に関する具体的なご照会
 - お取引の証券会社または最寄りの税務署にご相談ください。
- 税務申告等に関するご照会、ご相談
 - 最寄りの税務署にご相談ください。

会社概要 (2009年5月31日現在)

CORPORATE DATA

社 名:	株式会社パナグループ(Pasona Group Inc.)
本社所在地:	〒100-6514 東京都千代田区丸の内一丁目5番1号 新丸の内ビルディング Tel. 03-6734-0200(代)
創 立:	1976年 2月16日
設 立:	2007年 12月 3日
資本金:	50億円
事業内容:	グループ経営戦略の策定と業務遂行支援、経営管理と経営資源の最適配分の実施、雇用創造に係わる新規事業開発等

証券コード(2168)

事業年度	毎年6月1日から翌年5月31日
剰余金の配当基準日	5月31日(中間配当を行う場合は11月30日)
定時株主総会	毎年8月
株式売買の単位	1株
上場証券取引所	東京証券取引所 市場第一部
公告方法	電子公告 www.pasonagroup.co.jp/ir ただし、事故その他やむを得ない事由によって電子公告による公告をすることができない場合は、日本経済新聞に掲載して行う。
株主名簿管理人	東京都中央区八重洲一丁目2番1号 みずほ信託銀行株式会社
事務取扱場所	東京都中央区八重洲一丁目2番1号 みずほ信託銀行株式会社 本店証券代行部
(郵便物送付先)	〒168-8507 東京都杉並区和泉二丁目8番4号 みずほ信託銀行株式会社 証券代行部
(電話照会先)	☎ 0120-288-324(フリーダイヤル)

2009年1月5日に実施された株券の電子化に伴い、株式会社証券保管振替機構(ほふり)へ期日までに預託されなかった当社株券について、株主の権利を確保するため、当社が株主名簿上の株主名義で「特別口座」を開設しております。特別口座にて当社株式が管理されている方は、所定のお手続きが必要となりますので、上記事務取扱場所へご連絡をお願いいたします。

株式会社パナナグループ

〒100-6514 東京都千代田区丸の内1-5-1新丸の内ビルディング
Tel. 03-6734-0200(代)
www.pasonagroup.co.jp



このパンフレットは「FSC認証紙」と、揮発性有機溶剤を含まない「VOCゼロ型インキ」を使用しています。



表紙の絵:

佐竹 未有希(知的障害)

アーティスト社員として、絵を描くことを仕事にしています。ガラス絵を中心とした、アート村工房商品のデザイン画の作成を得意としており、彼女の作品は特に人気があります。

パナナグループは「才能に障害はない」のコンセプトのもと、1992年「アート村プロジェクト」をスタートして以来、アートを通じて障害者の社会参加を支援しています。